

あなたのお家は、 火災予防対策できていますか？



3/1(月)
～
3/7(日)

令和3年春季全国火災予防運動

火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的としています。

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

1. 寝たばこは絶対にやめる。
2. ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
3. ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。
4. 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
5. 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
6. 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器を設置する。
7. お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

住宅用火災警報器の維持管理について

火災を感知できなくなる前に **10年** を目安に交換しましょう。

住宅用火災警報器は、古くなると電池切れや電子部品の劣化で火災を感知なくなることがあります。

平成23年からすべての一般住宅で設置が義務化され、10年が過ぎようとしています。

各ご家庭の住宅用火災警報器を点検しましょう。

点検方法

本体についているひもを引いたり、ボタンを押して作動確認をしてください。

【正常な場合】 正常をお知らせするメッセージまたは警報音等が鳴ります。

【音が鳴らない場合】 電池切れか、本体が故障している可能性があるので交換しましょう。

広島市消防局管内火災原因

ワースト3（令和2年）

- 1位 たばこ 38件
- 2位 コンロ 30件
- 3位 放火（疑い含む。）28件

—実施機関—

広島市消防局
広島市消防団

—協力機関—

海田町消防団・坂町消防団・熊野町消防団
安芸太田町消防団・廿日市市消防団